

訪問看護入力

検索

F1 新規 F2 編集 F3 中止 F4 登録 F5 < F6 << F7 >> F8 表示 F9 参照 F10 削除 F11 印刷 F12 戻る

検索条件

利用者 大府 源吾 訪問日 ~ 担当者

最終訪問 リセット

検索

5 件

ID	利用者	訪問日	訪問時間	担当者	BP1	BP2	体温	脈拍	呼吸	SpO2
0100	大府 源吾	06/01/24	10:00	test	142	78	36.4	58		98
0100	大府 源吾	06/01/19	10:00	test	145	80	36.5	58		98
0100	大府 源吾	06/01/17	10:00	test	160	95	37.2	62		95
0100	大府 源吾	06/01/12	10:00	test	154	90	36.4	59		98
0100	大府 源吾	06/01/10	10:00	test	158	92	36.5	60		98

図 8 訪問看護入力(記録書)データ検索画面

訪問看護入力
F1 履歴
F2 発行
F3 中止
F4 登録
F5
F6
F7
F8 検索
F9 参照
F10 印刷
F11 印刷
F12 印刷

新規

利用者 男

訪問日 訪問時間

担当

バイタル

体温	
脈拍	
呼吸	
SpO2	

詳細情報

食事	
睡眠	
排便	
排便	
浮腫	

清潔援助

口腔洗浄	<input type="checkbox"/>
陰部洗浄	<input type="checkbox"/>
口腔清拭	<input type="checkbox"/>
爪切削	<input type="checkbox"/>
歯磨き	<input type="checkbox"/>

排泄援助

膀胱洗浄	<input type="checkbox"/>
導尿	<input type="checkbox"/>
浣腸	<input type="checkbox"/>
肛門ケア	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>

バイタルサイン表示

更新

前回入力しましたか？
※前回訪問日「2006年07月24日」

処置 処置

経過観察 処置 その他

その他

特記事項

リハビリテーション

ADL訓練	<input type="checkbox"/>
ADL指導	<input type="checkbox"/>
言語訓練	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>

「特記事項」で改行する場合は「Ctrl」+「Enter」キーを入力してください

図9 訪問看護入力(記録書)データコピー機能

利用者: 06/01/24 男 81

報告日: 06/01/24

目標: 1. ADLの向上 2. 糖尿病のための服薬管理ができること

担当者: test

レターチャート表 印刷日: 06/01/24

実施内容: 清拭, 洗髪, 爪切り, 褥瘡処置, ADL訓練, 言語訓練, 糖尿病につき服薬指導

経遇: 今月より訪問開始致しました。月の前半では不眠が頻いておりましたが後半には改善してまいりました。月の半ばで風邪をひかれ、食事が低下した時期がありましたが、現在は完治し食事量も定量化されております。月末に別居している娘夫婦のところへ過されることとで、26日と31日は訪問なしの予定です。

A. 日常生活活動

食事	1部分介助
起床	2時々失禁
排泄器用	3なし
便器	2声掛見守準備
入浴	1部分介助
更衣	2声掛見守準備
整容	1部分介助
整容	1部分介助
整容	1部分介助
整容	0全介助

B. 基本動作

寝返り	2限定された動き
起き上がり	1部分介助
座位保持	2自力安定
起居	2時々室内を歩く
屋外移動	1部分介助

C. 覚醒・感覚

覚醒水準	2覚醒している
聴覚	2少し問題あり
視覚	3小さな字の読み困難
嗅覚	3障害なし

D. 痲痺・嚥下

運動麻痺	0有り
感覚麻痺	1無し
咀嚼の問題	1無し
嚥下の問題	0有り

E. 認知機能

場所見当識	2問題なし
短期記憶	0問題あり
常識・伝達力	2困難が伴う
理解力	2困難が伴う

F. 精神症状

抑うつ	0有り
妄想幻覚	1無し
問題行動	0有り
その他	1無し

G. 家族介護

介護	2問題なく実行
病床の状態	1普通
着衣の洗濯	1しぼらく着たまま
清潔	2妥当な服装
清潔	3部分的に不十分
清潔	2全く恐れていない
清潔	1無し
清潔	1無し
清潔	1無し

F1 報告書作成
F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8
F9 F10 F11 F12

表示
新 レーダーチャート
参照 戻る

印刷 戻る

レーダーチャート表
更新日 06/01/24

病のための服薬管理ができること

利用者 大府 源吾
性別 男
年齢 81

報告日 06/01/24
報告年 06年
報告月 1月
報告日 1月

施設 AD 相

検索

A. 日常生活活動

食事	1部分介助
入浴	2時々失禁
排泄器具	3なし
更衣	2声掛見守準備
入浴	2声掛見守準備
更衣	1部分介助
整容	1部分介助
整理	1部分介助
屋門移動	1部分介助
階段昇降	0全介助

D. 麻痺・嚥下

運動麻痺	0有り
感覚麻痺	1無し
咀嚼の問題	1無し
嚥下の問題	0有り

G. 家族介護

2問題なく実行	2問題なく実行
1普通	1普通
1しばらく着たまま	1しばらく着たまま
2妥当な服装	2妥当な服装
3部分的に不十分	3部分的に不十分
2全く悪れていない	2全く悪れていない
1無し	1無し
1無し	1無し
1無し	1無し

経過 今月より訪問開始致しました。月の半ばで風邪も定量化取されており、日と31日は訪問なしの予定

報告書作成

編集

利用者 大府 源吉

報告日 06/01/24

特記事項コピー

特記事項コピー

※訪問看護入力画面の特記事項項目をコピーします

利用者 大府 源吉

コピー

本日より訪問開始。表情良いが煙つきの悪さを訴えられる。

食事前に服薬をつい忘れてしまうとのこと。入眠困難続いている。

風邪をひき発熱あり。体調不良のため清拭のみ。|

風邪も完治し、食事も定量摂取可能。

体調良好。月末に別居している娘夫婦のところまで過ごすとのこと。26日・3日は訪問なし。

コピーしたいデータをチェックし「コピー」ボタンをクリックしてください

F12 戻る

F2 コピー

9 F10 F11 F12

照 出 印刷 戻る

更新日 06/01/24

の服薬管理ができること

D. 麻痺・嚥下

麻痺	0有り
嚥下	1無し
立	1無し
の問題	0有り
の問題	

G. 家族介護

の問題	2問題なく実行
の問題	1普通
の問題	1しばらく着たまま
の問題	2妥当な服装
の問題	3部分的に不十分
の問題	2全く恐れていない
の問題	1無し
の問題	1無し
の問題	1無し

「実施事項」項目や「目標」項目で改行する場合は「Ctrl」+「Enter」キーを入力してください

スクリーンショット

報告書作成

図 12 報告書作成時における訪問看護記録(特記事項)からのデータコピー機能

訪問看護「ハビドリ」報告書

以下の通り、訪問看護の業務および計画についてご報告いたします。

利用番号	大府	源香	性別	男	生年月日	1926年11月	年齢	81才
住居	大府市福地町3-6-3		家族構成	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 親子 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹				

2009年01月

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

酒類、遊樂、不規則
 喫煙習慣
 認知症
 家族関係につき無関係

ONS ΔFT・VT

報告日 2009年1月21日

訪問看護士 チョーシヨウ 管理 小川 研
 15 (0994) 報告書 test 研

長壽 政策 推進課 研

図 13 報告書印刷プレビュー画面

報告書作成				F9 参照				F10 印刷				F11 印刷				F12 印刷			
新規				F5 F6 F7 F8				F3 中止				F4 登録				F1 F2 F3			

利用者		大府 源吉		性別	男	年齢	81
報告日	06/02/01						

A. 日常生活活動 食事 尿失禁 排便器具 便失禁 排便器具 入浴 風呂 整容 移乗 屋内移動 階梯昇降	B. 基本動作 立位歩行 起き上がり 座位保持 起居 屋外移動	C. 覚醒・感覚 覚醒水準 睡眠 覚醒時 睡眠時 前回入力しましたか? ※前回報告日「2006年01月24日」	D. 麻痺・嚥下 運動麻痺 感覚麻痺 嚥下
E. 認知・理解力 場所見当識 短期記憶 表現・伝達力 理解力	F. 状態 抑うつ 妄想幻覚 問題行動 その他	G. 家族介護 介助 病棟の移動 着衣の洗濯 服薬 清潔 身体拘束 閉じ込め 外出	

「実施事項」 「目標」 「経過」 で改行する場合は「Ctrl」+「Enter」キーを入力してください

スタート

1559

図 14 報告書データコピー機能

利用者検索

表示

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
印刷 戻る

検索条件

性別 年齢 ~ 病名

要介護度

医療保険 病状・入院 開始と再開 最新記録

検索 リセット

利用者件数 14

胃腸	1	胃腸炎	0	HN(CVHD)	0	点滴	5	人工呼吸器	0	HOT	0
気管切開	0	吸引	0	人工呼吸機	0	完腸	0	摘便	0	自己導尿	0
如坐位	0	膀胱洗浄	0	褥瘡(1)	3	褥瘡(2)	1	褥瘡(3)	1	褥瘡(4)	1
留置カテーテル	0	留置カテーテル	0	尿管	0	尿管	7	尿管管理	1	自己注射	0
カテーテル	0										
ADL訓練	4	ROM訓練	0	言語訓練	2	職下訓練	2	呼吸器訓練	1		

終了

図 15 利用者マスターデータ集計表示画面

訪問看護記録検索

表示

検索条件

集計期間 05/11/01 ~ 06/01/31

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12
参照 印刷 戻る

検索 リセット

訪問看護件数

	介護保険法の利用者										合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	健康保険等			
利用実人数(人)	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
訪問回数(回)	0	0	0	9	6	0	0	0	0	0	15
30分未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30分以上1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1時間以上1時間30分未満	0	0	0	9	6	0	0	0	0	0	15
1時間30分以上2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

終了

図 16 訪問看護記録集計表示画面

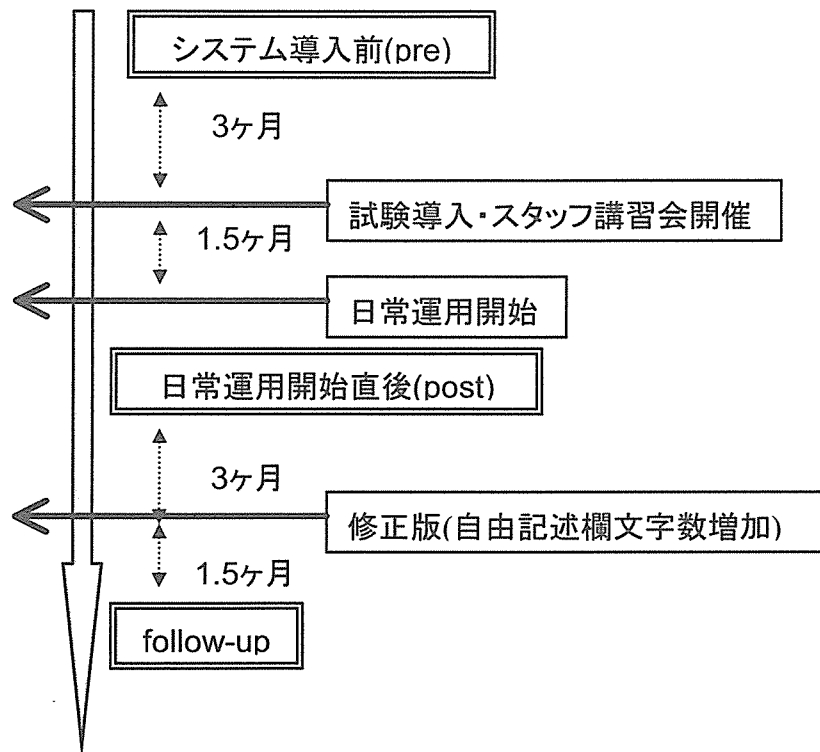


図 17 査定手続きの時間的流れ

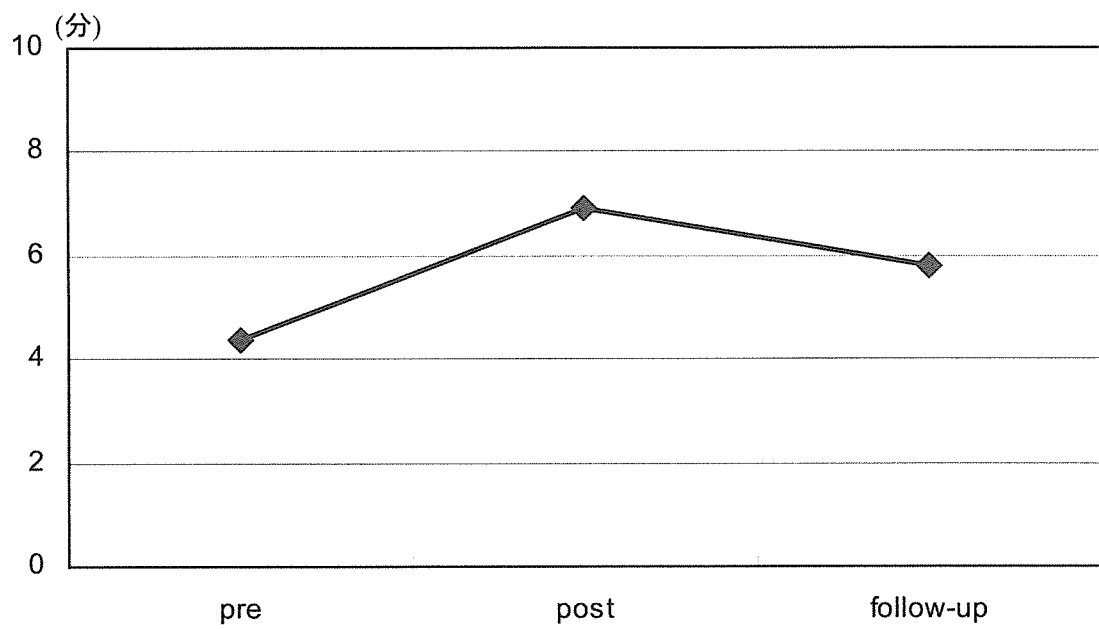


図 18 記録書 1 件あたりの平均所要時間の変化

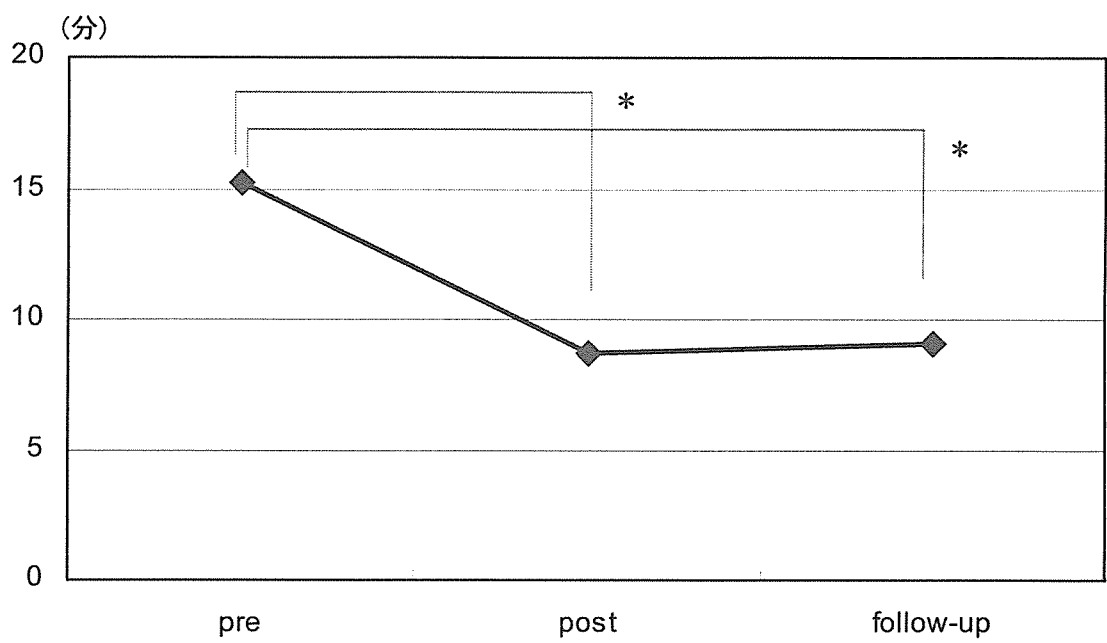


図 19 報告書 1 件あたりの平均所要時間の変化

* $p < 0.05$

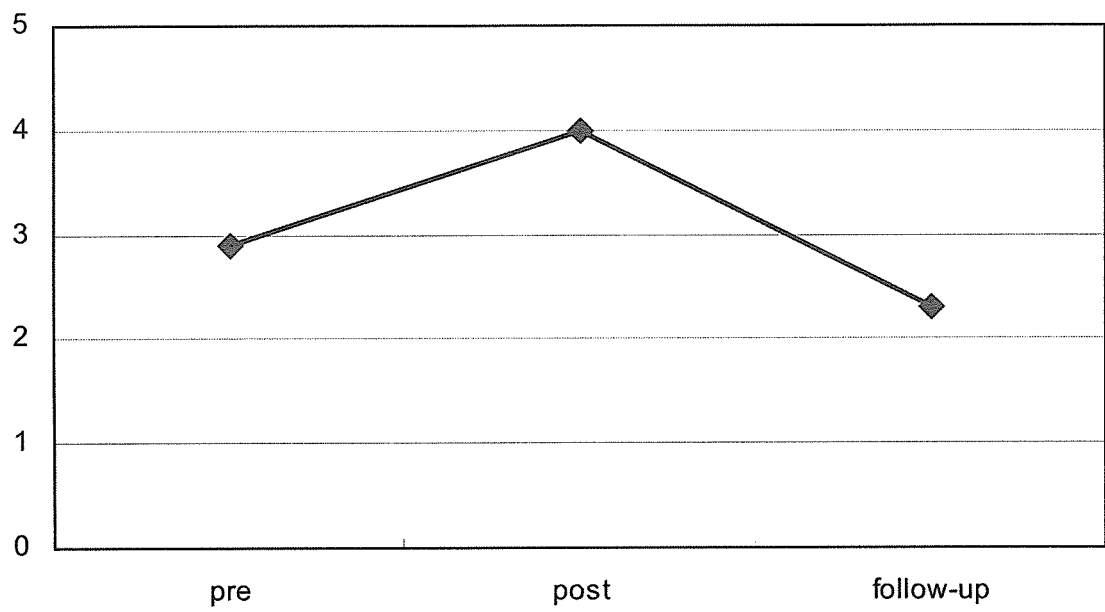


図 20 バーンアウト (疲弊感) 得点の変化

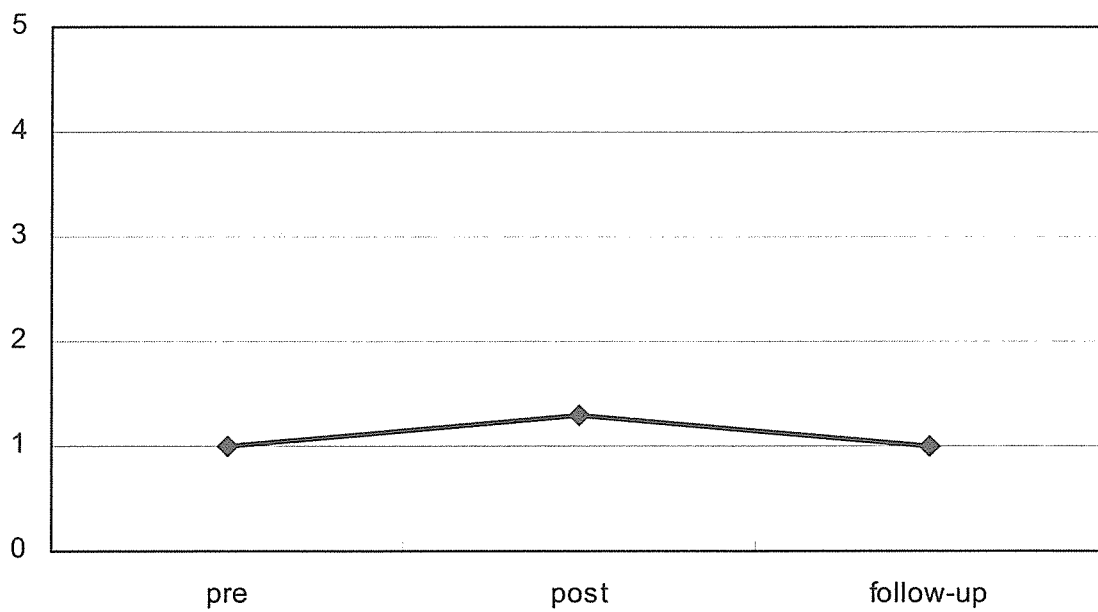


図 21 バーンアウト (シニシズム) 得点の変化

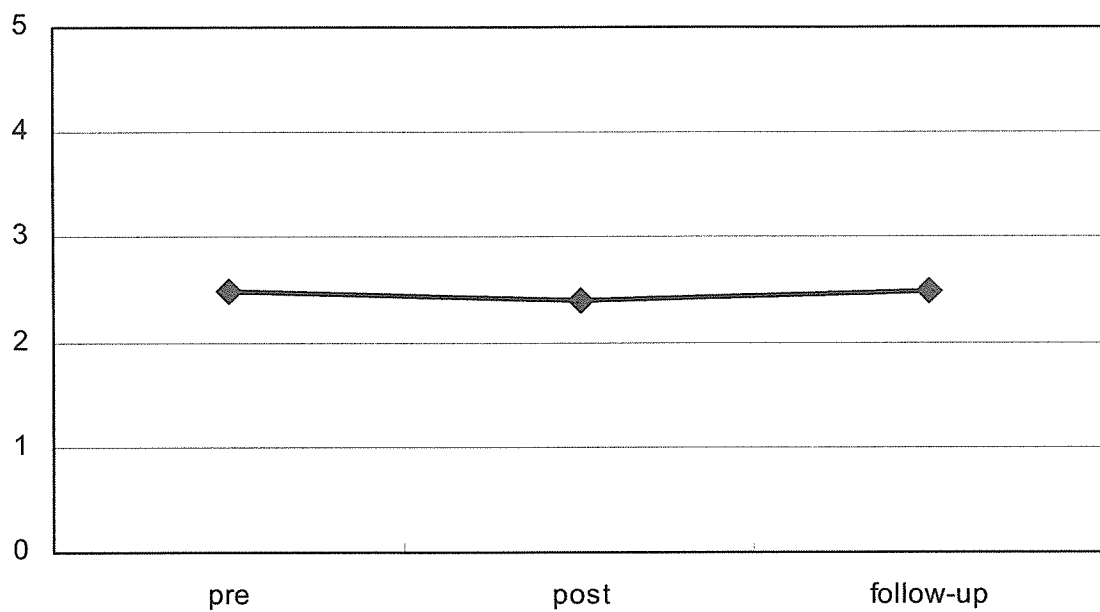


図 22 バーンアウト(職務効力感) 得点の変化

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ikeda M.	Fronto-temporal dementia.	Ritchie CW, Ames DJ, Masters CL, Cummings J	Therapeutic strategies in dementia	Clinical Publishing	Oxford	2006	287-299
荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮・久道茂	シンプル衛生公衆衛生学2005	南江堂	東京	2005	293-303
荒井由美子	家族介護者の介護負担	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	大阪	2005	263-267
熊本圭吾, 荒井由美子	高齢者の心理的支援	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	大阪	2005	294-298
福原竜治, 池田 学	物忘れ外来	井上新平	精神科・神経科ナースの疾患別ケアハンドブック	メデイカ出版	大阪	2005	240-243
池田 学	アルツハイマー病の早期診断	三木哲郎	日常臨床に活かす老年病ガイドブック第4巻 認知症・うつ・睡眠障害の診療の実際	メジカルビュー社	東京	2005	56-63
池田 学	前頭側頭型痴呆	武田雅俊	現代老年精神医療	永井書店	大阪	2005	603-608
小森憲治郎, 池田 学, 田辺敬貴	原発性進行性失語 (Primary Progressive Aphasia: PPA)	笹沼澄子	コミュニケーション障害の新しい視点と治療理論	医学書院	東京	2005	221-238
荒井由美子	介護負担の評価	鳥羽研二	日常診療に活かす老年病ガイドブック第7巻 高齢者への包括的アプローチとリハビリテーション	メジカルビュー社	東京	2006	128-133
荒井由美子, 佐々木恵, 熊本圭吾	在宅ケアの質の評価	大内尉義	日常診療に活かす老年病ガイドブック第8巻 高齢者の退院支援と在宅医療	メジカルビュー社	東京	2006	182-187

荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮・久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2006	南江堂	東京	2006	295-305
石川智久, 池田 学.	臨床症状 (地域コホート研究を基盤として)	村山繁雄	アルツハイマー病診断	真興交易出版	東京	2006	43-53
池田 学.	認知症の診断	池上博司・楽木宏美	老年病・認知症-長寿の秘けつ-	メディカルビュー社	東京	2006	207-211
池田 学.	前頭側頭型痴呆に有効な薬物療法はあるか	上島国利・三村 将・中込和幸・平島奈津子	EBM精神疾患の治療2006-2007	中外医学社	東京	2006	363-367
池田 学.	記憶障害	岩田 誠・鹿島晴雄	言語聴覚士のための基礎知識 臨床神経学・高次脳機能障害学	医学書院	東京	2006	196-200
池田 学, 田辺敬貴.	前頭側頭型認知症 (痴呆)	平井俊作	老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	2006	110-111
秦 龍二, 池田 学.	FTDP-17	平井俊作	老年期痴呆ナビゲーター	メディカルビュー社	東京	2006	118-119
荒井由美子	精神障害の現状と動向	鈴木庄亮・久道茂	シンプル衛生公衆衛生学 2007	南江堂	東京	2007	299-309
池田 学.	前頭側頭型痴呆の治療法は	岡本幸市・棚橋紀夫・水澤英洋	EBM神経疾患の治療2006-2007	中外医学社	東京	2007	223-227
池田 学.	非アルツハイマー型変性認知症	山口 徹・北原光夫・福井次矢	今日の治療指針 2008年版 私はこう治療している	医学書院	東京		印刷中

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Arai Y</u> , Kumamoto K, Zarit SH, Dennoh H, Kitamoto M	Angst in Shangri-la: Japanese fear of growing old	J Am Geriatr Soc	53 (9)	1641-1642	2005
<u>Miura H</u> , <u>Arai Y</u> , Yamasaki K	Feelings of burden and health-related quality of life among family caregivers looking after the impaired elderly	Psychiatry Clin Neurosci	551-555	59 (5)	2005
<u>Miura H</u> , Kariyasu M, Yamasaki K, <u>Arai Y</u> , Sumi Y	Relationship between general health status and the change in chewing ability: a longitudinal study of the frail elderly in Japan over a 3-year period.	Gerodontology	22	200-205	2005
Washio M, <u>Arai Y</u> , Yamasaki R, Ide S, Kuwahara Y, Tokunaga S, Wada J, Mori M	Long-Term Care insurance, caregivers' depression and risk of institutionalization / hospitalization of the frail elderly	Int Med J	12 (2)	99-103	2005
<u>Arai Y</u>	Family caregiver burden and quality of home care in the context of the Long-Term Care insurance scheme: An overview	Psychogeriatrics	6 (3)	134-138	2005
<u>Arai Y</u>	Implementation and implications of the 2002 Road Traffic Act of Japan from the perspective of dementia and driving: A qualitative study	Japanese Bulletin of Social Psychiatry	14	158-161	2006
Schreiner AS, Morimoto T, <u>Arai Y</u> , Zarit SH	Assessing family caregiver's mental health using a statistically derived cutoff score for the Zarit Burden Interview	Ageing Ment Health	10 (2)	107-111	2006

Oura A, Washio M, Wada J, <u>Arai Y</u> , Mori M	Factors related to institutionalization among the frail elderly with home-visiting nursing service in Japan	Gerontology	52 (1)	66-68	2006
Kumamoto K, <u>Arai Y</u> , Zarit SH	Use of home care services effectively reduces feelings of burden among family caregivers of disabled elderly in Japan: Preliminary results	Int J Geriatr Psychiatry	21 (2)	163-170	2006
Nagao M, Sugawara Y, <u>Ikeda M</u> , Fukuhara R, Ishikawa T, Murase K, Kikuchi T, Mochizuki T, Miki H.	Heterogeneity of posterior limbic perfusion in very early Alzheimer's disease.	Neuroscience Research	55	285-291	2006
Mori, T, <u>Ikeda M</u> , Fukuhara R, Nestor PJ, Tanabe H.	Correlation of visual hallucinations with occipital rCBF changes by donepezil in DLB.	Neurology	66	935-937	2006
Mori, R, <u>Ikeda M</u> , Fukuhara R, Sugawara Y, Nakata S, Matsumoto N, Nestor PJ, Tanabe H.	Regional cerebral blood flow change in a case of Alzheimer's disease with musical Hallucinations.	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci	256	236-239	2006
<u>Ikeda M</u>	Donepezil for BPSD in dementia with Lewy bodies: a preliminary study.	PSYCHOGERIATRICS	6	S35-s37	2006
<u>Ikeda M</u>	Attitude of community dwelling elderly people regarding dementia and driving	Jpn Bull Soc Psychiat	14 suppl	155-157	2006
<u>Ikeda M</u> , Patterson K, Graham KS, LambonRalph MA, Hodges JR	A horse of a different colour: Do patients with semantic dementia recognize different versions of the same object as the same?	Neuropsychologia	44	566-575	2006

Yokota O, Tsuchiya K, Itoh Y, Ishizu H, Akiyama H, <u>Ikeda</u> <u>M</u> , Kuzuhara S, Otomo E.	Frontotemporal lobar degeneration with ubiquitin pathology: an autopsy case presenting with semantic dementia and upper motor neuron signs with a clinical course of 19 years.	Acta Neuropathol	112	739-749	2006
<u>Ikeda M</u>	Interventional studies with the aim of reduc ing the burden of care through drug therapy of BPSD	Acta Neurologica Taiwanica	15	65-66	2006
Sumi Y, <u>Miura H</u> , Nagaya M, Michiwaki Y, Uematsu H.	Colonisation on the tongue surface by respiratory pathogens in residents of a nursing home - a pilot study.	Gerodontology	23	55-59	2006
Shinagawa S, <u>Ikeda M</u> , Shigenobu K, Tanabe H	Initial symptoms in frontotemporal dementia and semantic dementia compared to Alzheimer' s disease	Dement Geriatr Cogn Disord	21	74-80	2006
Ishikawa T, <u>Ikeda</u> <u>M</u> , Matsumoto N, Shigenobu K, Brayne C, Tanabe H	A longitudinal study regarding conversion from mild memory impairment to dementia in a Japanese community	Int J Geriatr Psychiatry	21	134-139	2006
Matsumoto N, <u>Ikeda</u> <u>M</u> , Fukuhara R, Shinagawa S, Ishikawa T, Mori T, Toyota Y, Matsumoto T, Adachi H, Hirono N, Tanabe H.	Caregiver' s burden associated with behavioral and psychological symptoms of dementia in the local community elderly people.	Dement Geriatr Cogn Disord	23	219-224	2007
Hozawa A, Ohkubo T, Obara T, Metoki H, Kikuya M, Asayama K, Totsune K, Hashimoto J, Hoshi H, <u>Arai Y</u> , Satoh H, Hosokawa T, Imai Y.	Introversion associated with large differences between screening blood pressure and home blood pressure measurement: the Ohasama study.	J Hypertens		in press	
Sasaki M, <u>Arai Y</u> , Kumamoto K, Abe K, Arai A, Mizuno Y.	Factors related to potentially harmful behaviors towards disabled older people by family caregivers in Japan.	Int J Geriatr Psychiatry	22 (3)	250-257	2007